

SUMITOMO

会社所在地



住友建機 リサイクル紀行

Vol.37 山勝(神奈川県)

神奈川県中央部に位置する綾瀬市は、南部に東海道新幹線が貫き、北東部には厚木基地を構える。緑が豊かでドラマなどのロケ地に選定されることも多い。特徴的なのが県内の市で唯一、鉄道の駅が無いことだ。しかし、地元の人々がどこか誇らしげに「駅なし」を語るほど車でのアクセスは良く、隣接する市には主要駅が点在する。1970年代には工業団地が整備され製造業の移転が進んだ。市内の吉岡工業団地に3拠点をもち、独自の金属リサイクル事業を展開する山勝(本社||綾瀬市吉岡東、山中大樹社長)を訪れた。

YAMASHOブランド確立へ 独自性が高いサービスを提供

山勝では月間4000〜5000トンの鉄スクラップを取り扱っている。このうち大半を新断やドライ粉、機械類などの工場発生品が占める。複数の工業団地を有する綾瀬市は、ものづくりの街でもある。隣接する藤沢市には商用自動車の大手メーカーが主力工場を構え、関連工場などで加工スクラップが発生する。老廃スクラップは綾瀬市周辺の発生品を中心に、国内最大の人口を有する横浜市も集荷圏に入る。山勝では工場に集まる多種多様な鉄スクラップを油圧シャー(2基)やプレス機などの処理機を用いながら製鋼原料に加工して、域内の電炉メーカーやシッパーに供給している。

会社が行動指針として掲げているのがYAMASHOブランドの確立だ。周辺は同業の新規進出も増えており、競争は激化している。環境変化が絶え間なく続く中で、企業活動や社会貢献を続けていく

多能工型の効率運営 労働環境改善で採用増加

整理整頓が行き届いた山勝の工場には、取引先や地元企業、子どもたちが見学に訪れる。綺麗な職場は、工場の運営を効率的に行う上でも効果があるという。作業の効率化は山勝の工場運営において重要な要素だ。現場の統括を担



現場を束ねる戸井田工場長

一人ひとりが担う役割は大きい。現場では若手からベテランまで幅広い世代のスタッフが働いているが、年齢や社歴に関わらず「それ

うマネジメント部門に所属する戸井田工場長は「世の中で人手不足が課題となる中、当社においても新規の採用が難しくなる可能性がある。限られた人員で作業の効率化を常に図る必要がある」と話す。安定的な操業を続ける上で、

それが多能工として複数の仕事を同時にこなす必要がある(戸井田工場長)として、個々の技能向上も図る。

近年は若い社員が増えている。今年4月にも新卒と中途採用で新たに2名が加わった。会社は賃上げや残業の削減を進め、昨年から年間休日数を125日とした。重ねてきた労働環境の改善が採用面にも相乗効果を発揮している。改善には終わりが無い。山勝では毎年、年間の基本方針を全員で共有しており、今年のテーマは「全てをイチから見直す」とした。工場における設備やレイアウト、事務所内のペーパーレス化など、それぞれがゼロベースで仕事を見つめ直し、新時代のリサイクル企業を目指していく。



本社事務所・第2工場(神奈川県綾瀬市)

ために取引先から必要とされる独自性が求められるという。山勝にしか出来ないことを追求する上で導き出した答えの一つが、売買に至るプロセスを深く理解して、より踏み込んだサービスを提供することだ。新断やドライ粉が発生する取引先は、鋼材の加工が本業だ。スクラップや廃棄物の取り扱いはいくまでも付帯業務に過ぎない。「極論を言えばスクラップが発生しない

環境が取引先にとって理想的な形(戸井田皓佑工場長)なのだ。山勝の営業はこの視点を重視する。取引先が本業に注力できるように廃棄物の発生量を削減する提案を行うこともある。排出物の発生を抑制することは、一見すると会社の利益に相反するように見えるが、戸井田工場長は「値段だけでない、無形の価値をいかに提供できるか。ここに仕事の幅を広げる鍵がある」と話す。発生元の負担低減を図るために、山勝では産業廃棄物の収集運搬・処理業の許可を取得したほか、非鉄スクラップの受入れも30年ほど前に着手した。

加工したスクラップは品質管理を徹底する。品質は山勝の強みの一つだ。需要家が求める原料へのこだわりが販売面での価値を高めている。

~住友建機がある風景~



SH330LC-7MH: 切断圧1250tの油圧シャーを設置している第3工場では、重量物を含む様々な鉄スクラップを集荷している。2023年7月にSH330LC-7MHが加わり、効率性を追求する工場の運用に貢献している。

後発だからこそ「強み」

山勝の工場稼働する5機の建設機械は全てが住友建機製となっている。

昨年に同社で最大の「SH330LC-7MH」を導入。今年2月には鉄スクラップを扱う第1工場に小旋回型の「SH235XLC-7EC」を導入した。

戸井田工場長は住友建機について「率直に言って、金属リサイクル機では後発のイメージがあったが、却ってその点良かった」と話す。世界一の金属リサイクル機をつくるという住友建機の姿勢を、シンプルかつ機能的に設計された機械や営業のスタンスから感じ取った。



SH235XLC-7EC(第1工場)

導入後のメンテナンス面も評価しており「綾瀬市内にある神

奈川支店のスタッフが気にかけてくれる。これは非常にありがたい」という。2013年4月に導入した「SH330LC-3BHM」は稼働時間が2万5000時間に達したが、現在も油圧シャーに母材を投入する現場で山勝の戦力として活躍している。



SH330LC-3BHM(第3工場)

担当: 福田 満穂

2014年から10年にわたって山勝様を担当しています。当社のサービスを通じて皆さまとウィンウィンの関係を構築できるように頑張ります。



住友建機販売株式会社 神奈川支店
 〒252-1102 神奈川県綾瀬市本蓼11373
 Tel: 0467-78-3131 Fax: 0467-78-3133